



# TEAM白旗小

ふるさとを愛し 夢に向かって  
主体的に学び続ける 児童の育成



甲佐町立白旗小学校  
学校便り 第18号  
令和5年12月14日発行  
文責：原田加代子

## 授業参観・講演会・懇談会と大変お世話になりました。

人権学習は、「自分・周りの友達を大切にする子供」「差別に気付き、差別をしない子供」を目指すうえで、とても大切な学習です。職員も人権教育の節目と捉えしっかり準備をしますし、子供たちも真剣に取り組んでくれているところです。今後も学校では継続した取組を続けていきます。保護者の方も、授業をきっかけに、節目節目で、お子さんと「相手の気持ちを大切にすること」について考えていただくと幸いです。人権学習後は、学校保健委員会として、子供達の健康の状況を池田先生から、御船警察署の方から、「SNS等のトラブル」について5・6年児童と保護者にお話がありました。子供達の心・体・命は、大人が様々な社会の現状を知り、そのうえで守っていくべきだと改めて感じた時間でした。



1年「さるとかに」



2年「森のなかま」



3年「ほくさびしかっ  
たんだ」



4年「いのちいっぱい」



5年「わたしも学校に  
行きたい」



6年「なかまがいたから」

6年児童と保護者にお話がありました。子供達の心・体・命は、大人が様々な社会の現状を知り、そのうえで守っていくべきだと改めて感じた時間でした。



学校保健委員会の様子

## 2年生、ありがとう！



8日の授業参観の後、体育館前で、2年生が畑でとれた大根を販売する取組を行いました。保護者の皆様、ご協力、ありがとうございました。その後、販売し集まったお金で、学校に短縄をプレゼントしてくれました。2年生は、収穫した大根を冷たい水でも嫌がることなく、きれいに洗っていたそうです。この短縄は、全校児童で大切に使っていききたいと思います。

## 本校の地域コーディネーターの紹介

今年度になって、子供達の学習が充実した活動になるように、地域の方が学校にお手伝いに来てくださることが増えてきました。このような学習ができるのも、学校のニーズをもとに地域・保護者の方に声をかけ、お手伝いができる方を探す役割を、地域コーディネーターの藤田さんが行ってくださっているからです。これまで、3年生の「農家の仕事（社会科）」の学習で、ニラ農家の方を、また、先日は、5年生の「調理実習（家庭科）」の学習で、調理のお手伝いができる方などを探していただきました。5年生の子供達も、地域の方のおかげで、とても上手に「ごはんとお味噌汁」を作ることができました。地域の方が学校に来て、子供達の頑張りをほめたり、教えたりしてくださることは、子供達の安心感や自己肯定感を高めることにもつながり、充実した学習となります。今後も、校内のコーディネーター（岸元先生）と藤田さんと連携し、地域の方との学習を進めていきたいと思ひます。

